

有料版

6月号



毎月1日発行

第122号 定価850円(税込み935円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは

☎03-3371-9340

発行所 (株)ユースター (株)ユースカードコム

これで先読みができる!

Ucar 指数

開発しました



8~9面

事業承継してびびるの?!

ヨーロッパアジア地域向け中古車輸出を分析

Ucar 指数とは
現在、日本の中古車相場がニュース等になる時は、オークション会社が集計したオークション平均価格が使われることが多い。
一方で、本紙では、過去に「平均価格の罫」と題して、平均価格では相場動向を正しく把握できないことがあることを指摘してきた。
例えば、平均価格は極端な場合、たった1件の異常なオークション結果に左右されてしまう場合がある。
また、一つ一つの車種や年式別に見て相場の変動はなくても、低年式の割合が増えれば、平均価格は下落してしまう。平均価格は相場を見る上で不十分な指標なのだ。
今回作成したUcar 指数は、異常値の排除、走行距離の統一等、一定の統計処理を行なって作成しており、中古車価格を示す指標として、信頼できるものになっていると考える。
では次のページから注目の車種を紹介していきます。

日本全国から買える! リアル応札 業界No.1!



リアル応札 77会場
総接続 111会場
総流通台数 500万台

共有在庫 3,900円!

- おまとめサービスのご利用で入金前搬出OK!
3会場&3レーン同時応札OK!
ポスト応札を自動化できる「らくPOS」!

資料請求はこちら!
https://www.aucnet.co.jp/car/



トヨタ C-HR ハイブリッド ZYX10 <5年落ち>

2023 3月→4月 -5.1% ▼

<相場短観>
パングラデシュ、ロシアへの輸出が多い車。9月をピークに相場は下落。出品台数が多く下落継続を見込むが、4月にはパキスタン向け輸出もあったよう輸出次第

<中古車指数>

トヨタ アルファード AGH30W <走行0km>

2023 3月→4月 +0.7% ▲

<相場短観>
高価格が目される走行距離0kmでピックアップ。タイ、シンガポール、香港向け輸出が牽引するが、輸出次第。かなり下落してきており、これからの下落余地は限定的か

<中古車指数>

トヨタ アルファード AGH30W <3年落ち>

2023 3月→4月 -3.4% ▼

<相場短観>
マレーシア向け輸出の好不調が如実に反映。今後、マレーシア輸出は堅調が見込まれ、上昇に転じると見込まれるが、指数の水準はかなり高い。モデルチェンジにも要注意

<中古車指数>

トヨタ セレナ GFC27 <5年落ち>

2023 3月→4月 -3.4% ▼

<相場短観>
昨年9月をピークに4月まで大幅に下落。輸出相手国はロシアであること、また、出品台数が多いことから上昇を見込む環境ではない

<中古車指数>

トヨタ ムーヴ A200A <3年落ち>

2023 3月→4月 -1.1% ▼

<相場短観>
下落基調が継続。出品台数が多い中、輸出国であるロシアも現在は相場の牽引役となっておらず、下落傾向が継続の見込み

<中古車指数>

トヨタ ユーライア AGH30W <5年落ち>

2023 3月→4月 -6.4% ▼

<相場短観>
アルファードと同じくマレーシア向け輸出の好不調が反映する。マレーシア輸出は堅調な推移が見込まれ、上昇に転じると見込まれる

<中古車指数>

トヨタ ランドクルーザー プラト 5D TRJ150W <5年落ち>

2023 3月→4月 -1.6% ▼

<相場短観>
輸出次第の相場。ロシア向け輸出が牽引し、昨年9月まで急上昇。その後は4月まで下落。足元でパキスタン向け輸出の増加が見られ、上昇すると見られる

<中古車指数>

トヨタ RAV4 5D MXAA54 <3年落ち>

2023 3月→4月 -5.3% ▼

<相場短観>
輸出先がロシアであり、昨年9月をピークにした下落は自然な動き。引き続き、ロシア輸出は相場押し上げ要因とはならず、出品台数も多いことから、相場上昇を見込む状況ではない

<中古車指数>

トヨタ ユーライア ZRR80W <5年落ち>

2023 3月→4月 -3.6% ▼

<相場短観>
他のマレーシア向け輸出車種と同じタイミングでの相場変動が確認できる。輸出次第だが、今後マレーシア向け輸出は堅調と見込まれ、相場押し上げ方向と見込む

<中古車指数>

トヨタ ノート eパワー HE12 <5年落ち>

2023 3月→4月 -4.9% ▼

<相場短観>
他の日産車と同様。昨年9月をピークに4月まで大幅に下落。出品台数が多く、相場を押し上げる要因がない。全体相場次第か

<中古車指数>

トヨタ ハリアー ZSU60W <5年落ち>

2023 3月→4月 -8.3% ▼

<相場短観>
マレーシアに行く車ではあるが、ロシア向けも多い。両者の特徴を備えているが、現在は下落が続いている。出品台数が多く、しばらくは低調か

<中古車指数>

トヨタ アクア NHP10 <5年落ち>

2023 3月→4月 -12.3% ▼

<相場短観>
5年間のグラフとなっている。足元は価格が下落してきたとは言え、2018年、2019年の水準よりは高い。出品台数が多く、落ち着きどころを探る展開か

<中古車指数>

レクサス RX AGL20W <3年落ち>

2023 3月→4月 -2.8% ▼

<相場短観>
出品台数が増加した2、3月の相場は下落したが、4月に入って落ち着いている。マレーシア向け輸出は堅調が見込まれ、横ばいから上昇の動きを見込む

<中古車指数>

ホンダ N-BOX 拡張 JF3 <5年落ち>

2023 3月→4月 -1.3% ▼

<相場短観>
輸出相手国はマレーシア。昨秋以降、下落傾向が続くが、今年1月はマレーシア向け輸出の影響と見られる上昇もある。足元で出品台数が減少、マレーシア輸出もあり、上昇か

<中古車指数>

トヨタ アクア NHP10 <9年落ち>

2023 3月→4月 -12.4% ▼

<相場短観>
販売台数が多く、出品台数はプリウスと並ぶ規模の車。9月までは上昇基調、それ以降は下落基調。足元の出品台数が多く、横ばいから下落継続か

<中古車指数>

まだまだあります!

Ucar 指数

2~3面の個別車種のUcar指数と説明を掲載分の他にも作成しました。ご興味のある方はQRコード先からダウンロードしてください。

Ucar 指数の意義、作成方法、利用方法

Ucar 指数は、一橋大学の横内准教授に作成いただいた。まずは横内准教授のコメントを読んでいたいただきたい。

市場に出品される車はすべて条件が異なり、同じ車はひとつもありません。市場の平均価格の変化を調べても、その都度走行距離や登録後の経過月数の平均値も変化してしまうので、AA市場の動向を正確に理解することは困難です。

その欠点を補うため、ユーストカー指標では統計学や計量経済学でよく用いられる回帰分析をベースにして、走行距離や経過月数といった車の属性を固定、算出する方法を採用しています。

例えば、ユーストカーのマクロ指標(市場全体の動向を示す指標)は、5年落ち、5万キロに固定したうえで車の価値の経時的な変化を表現しており、市場の価格動向の変化がより正確に理解できます。

このような車の属性のコントロールは、アメリカの月次中古車指数であるマンハイム指数でも採用されており、実績のある手法です。

ユーストカードットコムは、AAデータを丁寧かつ迅速な形でクレンジングしているため、月ごとに発表されるマンハイム指数よりも高頻度での発表が可能となりました。

実際、本紙でお見せしているグラフも週ごとに計算された指標の動きになっています。加えて、細かな車の属性データも豊富かつ正確にデータベースに格納されているので、特定の車の特定のグレードで算出したミクロな指標も実現することができました。本紙にもいくつかのグラフが載っていますので、ぜひご覧いただければと思います。

このような市場の価格動向がリアルで正確にわかるようになれば、将来的には金融市場におけるセミマクロ指標としての活用はもちろん、証券化によるリスク移転も実現できるのではないかと思っています。

横内 大介 博士 (工学)
一橋大学大学院経営管理研究科 准教授
金融戦略・経営財務プログラム

MIRIVE 愛知は開場3周年

3rd Anniversary

MIRIVE AICHI

MIRIVE 愛知 6月のスケジュール

6月 2日(金)	3周年記念月間 AA 出品3台以上で流れ無料
6月 9日(金)	3周年記念月間 AA 出品3台以上で流れ無料
6月 16日(金)	3周年記念月間 AA 出品3台以上で流れ無料
6月 23日(金)	3rd Anniversary AA 全車流れ無料 来場プレゼント & 大抽選会
6月 30日(金)	3周年記念月間 AA フレッシュ&フレッシュコンパクトコーナー流れ無料

MIRIVE

水曜日は 埼玉の日
木曜日は 大阪の日
金曜日は 愛知の日

新規入会 好評受付中!
お申込みはWEBからかんたん手続き!

www.mirive.co.jp

<p>スズキ ジムニー JB64W <1年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -0.4%</p> <p><相場短観> 3年落ちはロシア向けに輸出されるが、1年落ちは国内需給が決定要因。4月末まで価格は下落。足元では出品台数が一時期より少なくなっており、堅調に推移か</p> <p><中古車指数></p>	<p>トヨタ ランドクルーザー VJA300W <1年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -2.0%</p> <p><相場短観> パキスタン向け輸出がほとんど停止状態であったため、相場は下落基調が続いていた。4月以降、パキスタン輸出が増えており、上昇に転じるのではないかと</p> <p><中古車指数></p>	<p>トヨタ アリアス ZVW30 <11年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -5.6%</p> <p><相場短観> 販売台数も多く、出品台数も多いことから、ここでは11年落ちを取り上げた。UAE、ロシアへの輸出もあるが、相場への影響はない。出品台数が多く下落基調継続を見込む</p> <p><中古車指数></p>
<p>トヨタ アルファードハイブリッド AYH30W <3年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -5.2%</p> <p><相場短観> 仕向国はマレーシアではなくロシア。9月をピークに下落。指数の水準はまだ高いが、出品台数は多くなく、落ち着きどころを探る展開か</p> <p><中古車指数></p>	<p>トヨタ イスカイハイブリッド ZWR80G <5年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -6.4%</p> <p><相場短観> バングラデシュ向け輸出は多いが、相場の押し上げにはつながっていない。下落基調が続いている。出品台数は多く、下落基調は続く見込み</p> <p><中古車指数></p>	<p>ホンダ ヴェゼルハイブリッド RU3 <5年落ち></p> <p>2023 3月→4月 +1.1%</p> <p><相場短観> 国内外での人気が高い。相場に影響を与える国も輸出先であり、その影響を受ける。足元はパキスタン向け輸出の増加により、価格は上昇するのではないかと</p> <p><中古車指数></p>
<p>ホンダ ステップワゴンハイブリッド RP3 <5年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -1.3%</p> <p><相場短観> 輸出面ではマレーシアとロシアが多い。足元で出品台数は減っており、マレーシア向け輸出も堅調が見込まれ、相場上昇か</p> <p><中古車指数></p>	<p>ホンダ フィット GK3 <4年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -3.8%</p> <p><相場短観> ヴィッツと同じく、4年落ちとなるとキプロス向け輸出が多くなる。昨年9月までの上昇分を、4月までにはき出した感じだが、指数はまだ高い。出品台数は多く、下落傾向か</p> <p><中古車指数></p>	<p>ニッサン デイズルークスハイブリッド B21A <5年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -3.2%</p> <p><相場短観> 他の日産車と同様。昨年9月をピークに4月まで大幅に下落。出品台数は多く、相場を押し上げる要因がない。全体相場次第か</p> <p><中古車指数></p>
<p>トヨタ ヤリスハイブリッド MXPJ10 <2年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -3.5%</p> <p><相場短観> 低排気量のハイブリッド車で、いかにバングラデシュに好まれる車だが、まだ製造年が若い。4月には出品台数が増え、相場もさらに下落。バングラデシュ待ち</p> <p><中古車指数></p>	<p>ホンダ N-BOX JF3 <5年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -5.7%</p> <p><相場短観> N-BOX カスタムと異なり輸出される場合はロシア。下落が続いていたが、4月には出品台数が若干減少し、相場の下落も緩やかに。ただし、明確な押し上げ要因もなく、横ばいか</p> <p><中古車指数></p>	<p>マツダ CX-5 KF2P <5年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -9.4%</p> <p><相場短観> 出品台数が多い中での下落基調が継続している。足元の出品はまだ多く、輸出国もロシアであることから、相場は下落基調が続く見込み</p> <p><中古車指数></p>
<p>スバル フォルスター SJ5 <7年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -7.9%</p> <p><相場短観> ロシア向け輸出が多いが、ケニア向け輸出も相場に影響を与える。4月まで、昨年6月～9月の上昇分をはき出した形。出品台数が多く、もう少し見極めが必要</p> <p><中古車指数></p>	<p>ダイハツ タントカスタム LA600S <9年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -5.3%</p> <p><相場短観> 9年落ちとなっても出品台数が多く、グラフの表示期間中は価格下落が続いた。足元も出品台数は多く、輸出される車でもない。相場は良く横ばいか</p> <p><中古車指数></p>	<p>トヨタ ガイッツ5D KSP130 <4年落ち></p> <p>2023 3月→4月 -8.2%</p> <p><相場短観> 販売台数も多く、輸出も多い。年式、型式により行く国が変わる。4年落ちはコロナ禍の後、上昇し、昨年9月をピークに下落。出品台数も多く、調整継続中と見られる</p> <p><中古車指数></p>

Ucar 総合指数

2020年のコロナ禍により3月後半から下落。その後は新車生産・販売の落ち込み等を背景に、中古車相場は上昇基調となった。昨年6月以降はロシア輸出が相場をさらに押し上げたが、9月上旬をピークに下落に転じ、その傾向が続いている。その他、今年1月にマレーシア向け輸出が相場を押し上げた動きなどがわかる。

Ucar 総合指数

今回は、以下のようないくつかの指数を作成した。

マクロ指数

総合指数は、左図の通り。

その他、4面では、対象車種を各ブランドのものに絞り込んで作成した。作成方法は総合指数と同様である。

マイクロ指数(車名・型式(グレード)・年落ち別)

2面〜3面で示したグラフが、個別の車名、グレード、年落ちを特定して計算した個車別の指数である。中古車オークションでの出品台数や、取引金額といった市場規模を勘案して、ピックアップした30車種について掲載している。これ以外にも、QRコード先で同様の説明を行なっている。興味のある方は見ていただきたい。

なお、走行距離は年落ち別に妥当な距離を設定した上で価格の調整を行っている。

セミマクロ指標として

日本の物価指数における、自動車価格の存在感は極めて小さい。消費者物価指数(CPI)では、新車価格は106/10000のウエイトで組み込まれているが、中古車価格は組み込まれていない。今回のUcar 総合指数の作成は、自動車価格の実勢を把握する上で有意義なものと考えている。

月間感謝企画

6月4週 連続お取引

ご出品でも ネット落札でも

もれなくプレゼント☆

和歌山ブランド果実

あらじの **桃**

軽自動車デビュー ブロック

キャンペーン価格

出品料 **1000円**

成約料 15,000円 税別

アウトレット ブロック

軽度の事故現状車

出品料 **0円**

成約料 21,000円 税別

6/28 ベイオーク大記念AA BIG抽選会

お客様感謝 Day

ハズレ無し

MINI抽選会

ご来場賞

グランデモーション

限定価格

買取保証

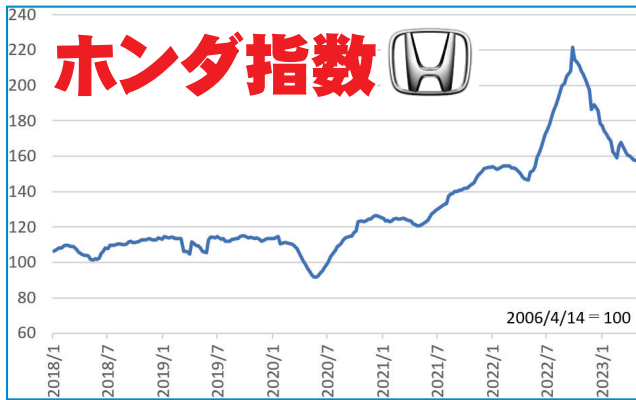
実施中

Low-Max ブロック限定です。

株式会社ベイオーク

〒559-0031 大阪府大阪市住之江区南港東 3-5-30

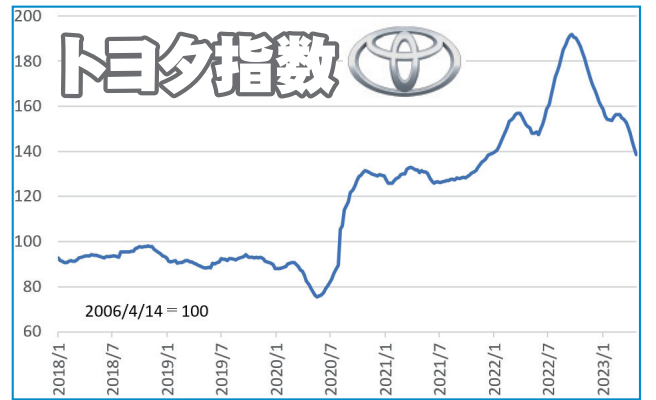
TEL06-6612-5612



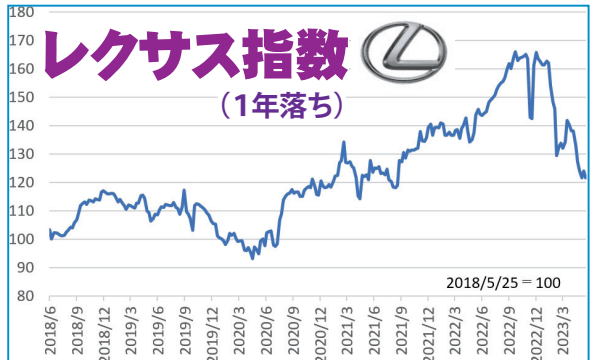
日産車と同じ傾向だが、昨年のロシア向け輸出に伴う相場変動は大きかった。日産車と同様、すでに下落は緩やかになっている



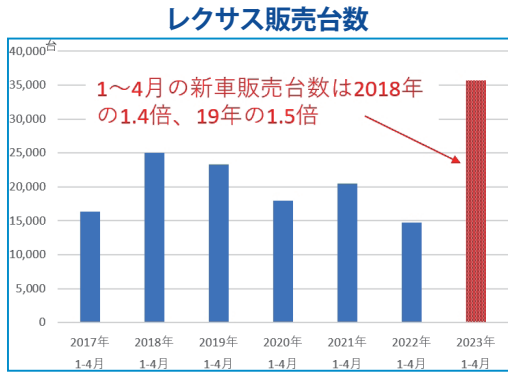
元々盛り上がりは少ないが、21年後半からの部品不足とロシア向け輸出の影響は大きかった。足元は下落が緩やかになっている



中古車市場でのウエイトが大きく、全体指数に近い。1月の上昇はアルファード上昇、足元の下落は新車販売台数増加を反映



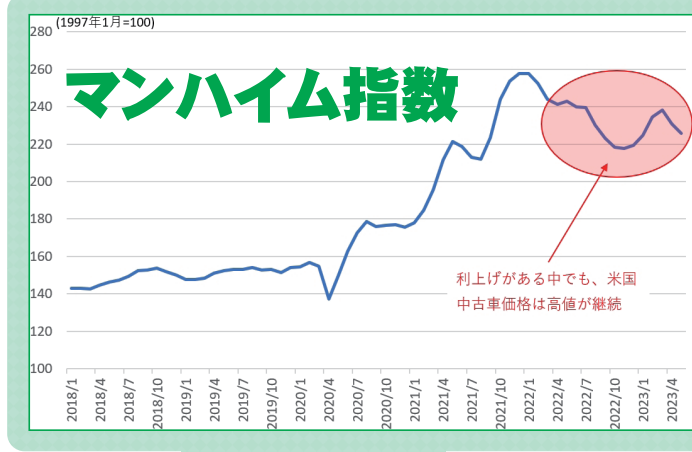
1年落ちで算出。今年に入って急落し既に21年前半の水準。問題はここで下げ止まるのだが、新車販売台数の増加が大きく、さらに下落すると見る



1~4月の新車販売台数は2018年の1.4倍、19年の1.5倍

中古車指数の具体例 (カテゴリー別)

トヨタ指数は3面全体指数と同様の動きとなっている。ホンダ指数は、昨年6月以降の上昇・下落にロシア向け輸出の影響が現れている。ロシアでの人気が高いホンダ車ならではの動きである。ニッサン指数も同様だが、昨秋以降の下落が大きい。ニッサンもセレナ、エクストレイル、リーフ、ノートeパワー等ロシア向け輸出が多い。レクサスは、今年に入ってから相場下落が非常に大きかったブランドである。レクサス指数は、1月初の162.7から5月半ばの121.7まで、約25%の下落となった。レクサス指数の下落幅が大きかった理由は、今年1月以降の新車販売台数が多かったことに尽きる。1月~4月の販売台数の多かった2018年1月~4月の1.4倍、19年の1.5倍の価格、すでにかなり大きく下落した。販売がこのペースを続けるのであれば、さらに下落する余地がありそうだ。本紙が相場下落の見通しを持っているのは、この需給の観点からである。逆に、部品不足等新車の販売計画がトヨタ等の計画どおりに行かない場合は、下げどまり、反転上昇もあるだろう。



マンハイム指数について
「マンハイム指数」は多くの読者には馴染みのない言葉だろう。米国の中古車オークション大手マンハイムが公表している米国の中古車価格の指標である。米国の車社会であり、消費社会である。中古車の取引数は新車の約3倍である。また、金融政策の変更は自動車ローンを通じて車の需要に影響を与えるため、経済政策の効果を測る上でも重要な指標となっている。マンハイム指数の特徴は、以下である。
・カテゴリーが多い
・季節調整
・標準化
マンハイム指数の動きは左図である。米国は景気後退が懸念されているが、中古車価格は高止まりが続いているようである。

日本全国から買える!

リアル応札 業界No.1!

リアル応札 **77**会場
 総 接 続 **111**会場*
*アイオーク接続会場含む
 総流通台数 **500**万台

- おまとめサービスのご利用で入金前搬出OK!
- 3会場&3レーン同時応札OK!
- ポス応札を自動化できる「らくPOS」!

共有在庫 落札手数料 **3,900円!**

オークネットなら、AIS検査付きのクルマが買える!

資料請求はこちら! <https://www.aucnet.co.jp/car/>